

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213
E-mail: info@aac21.net

【関西支部】〒665-0061 兵庫県宝塚市仁川北3-10-27 中野方

【カンボジア事務所】Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu, Kingdom of Cambodia
電話: (855) 12-519-114 (855) 12-946-483

【ホームページ】 AAC21

会報

幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう



アンコールワット

発行日 2012年(平成24年)3月1日

第63号

(年6回発行) (奇数月)



寄贈されたサッカーゴール前で裕規君の遺影と一緒に記念撮影(サッカーの試合に出場した2チームの子どもたち)

カンボジアの小学校にサッカーゴールと井戸を寄贈

天国の裕規君に子どもたちの歓声届く

一月十一日、カンボジア・コンボンスプー県のアンプラサット小学校校庭でサッカーのミニゲームが行なわれ、子どもたちの元気な声が響いた。ミニゲームに先立ち、サッカーゴールの贈呈式が行なわれた。寄贈者は、昨年、事故で亡くなった石原裕規君(当時大学生)。両親の石原弘之さん、さとみさんが、カンボジアが大好きだった裕規君の遺志を汲み、寄贈してくれたものだ。両親からは、同小学校に井戸も寄贈された。贈呈式には、石原さんに代わり根岸理事長が出席した。裕規君の遺影を生徒たちに見せ、寄贈に至った経緯を説明した。子どもたちに喜んでいただき、天国の裕規君も満足していることだろう。両親も「息子が生きた証を残してやれた気がして嬉しい」と話してくれた。

うまい儲け話にご用心

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

カンボジア政府公認の事業に投資するとうたい、高配当を約束して少なくとも約三千人から十七億円を集めていた都内の会社が、配当の支払いを滞らせていることが、新聞社の取材でわかった。警視庁も出資法違反の疑いありとみて情報収集を始め



純真な子どもたちを商売に使ってはいけない

たようだ。出資者の多くはお年寄りで、老後の資金をつぎ込んだ人も多く、一千六百万円も出資した女性もいたという。当初から事業実態がないにもかかわらず、同社の関連団体がカ

ンボジアの支援活動に携わるようになって、かれこれ十七年になるが、の団体と混同されてはたまったものではない。今後の捜査の進展に期待し、全容解明を急いでいただきたいものだ。

ンボジア人の政府関係者などに、校建設資金などの活動資金を前渡ししたことがあ。一番多いのが、カンボジアに類似した事案を、いくつか聞先にお金を渡すなど大変危険な行為であることを認識しておかないと、途上国での支援活動はまたたく間に頓挫する。善意の資金が有効に使われないことが断じてあってはならない。本会も、カンボジア国内で校舎を建てたり井戸を作ったりしているが、常に出来高に応じて支払っており、金銭トラブルは一度もない。政府関係者が仲介することもなく、皆様からいただいた活動資金はすべて、建設業者や受益者に直接届けている。

忘年会(懇談会)を開催

昨年12月10日、横浜市のレストラン「サンアロハ」において年末恒例の忘年会兼懇親会が開かれ、会員さん15人が参加した。

和気あいあいとした雰囲気の中、翌日の11日に満63歳になる根岸理事長のお誕生日会も兼ねて行なわれた。11月に実施された「第19回カンボジアふれあいの旅」の直後だったので、旅の思い出に花が咲いた。



忘年会に参加した会員の皆さん



約60%仕上がった神戸ユネスコ協会寄贈の校舎



1月6日、寄贈者の石川桂さんが完成した校舎を視察(右から2番目)

2つの小学校校舎建設事業、順調に

愛知県安城市の石川桂さん(里親会員)の資金提供により建設中だった小学校の校舎(コンボンチュム県トロボントム小学校)がほぼ完成、三月に行なわれる開校式を待つばかりとなった。建設工事にもない、別な場所で勉強していた生徒たちは、早々と校舎が完成したので新校舎での授業を開始した。神戸ユネスコ協会(加藤義雄会長・法人会員)の資金提供により、昨年十一月に建設がスタートした校舎(コンボンチュナン県・ストックアイトロミヤ小学校)の建設工事は約60%が終了、五月の開校式に合わせ、着々と進んでいる。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



小学校で勉強する里子

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば67年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子ども達を支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月2500円×12ヵ月)のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金(税金)は一切いただいておりません。

1月はカンボジアの小学校に6基の井戸を設置



井戸の完成を喜ぶ小学生たち

1月は6つの小学校に井戸を寄贈、子どもたちに喜ばれた。音楽指導のため1月にカンボジアを訪問した桑原淑子さんがお友達に呼びかけて井戸を寄贈、贈呈式にも出席した。オペラ歌手でもある桑原さんは式でも歌唱を披露、子どもたちは美しい歌声に聞き入っていた。

井戸は1基16万円で完成する。
(皆様のご協力をお待ちしております)

1月に完成した井戸の内訳			
ネームプレートに記された名前など	学校名	生徒数	学校の所在地
① ISHIIUCHI & TOMITA 様	ボンロー小学校	310人	コンボンスプー県プムスロッチ郡
② カンボジアの子どもたちが大好きな日本人より	マロムカントボン小学校	986人	コンボンスプー県チャパーモン郡
③ 桑原淑子、高橋キミ、蛭田 様	トロピアンクロン小学校	927人	コンボンスプー県プムスロッチ郡
④ 北海道札幌手稲高等学校家庭クラブ様	クワエットトム小学校	277人	コンボンスプー県プレイチュ郡
⑤ 大好きな子どもたちへ 穴六様	プームタメイ小学校	259人	コンボンスプー県プレイチュ郡
⑥ カンボジアの人々を愛する裕福の両親より	アンブラサット小学校	588人	コンボンスプー県チャパーモン郡

※通算の井戸設置数(2003年から) = 200基 (1月現在)

里子の通う小学校にトイレを寄贈



校舎の裏に完成したトイレ

一月十一日、コンボンスプー県オラル郡のチャシム小学校にトイレが完成、贈呈式が行なわれた。教育支援する里子が同小学校に通う近藤銀一さん(愛知県知立市・里親会員)の寄贈によるもので、式には近藤さんに代わって根岸理事長が出席した。

カンボジアには、トイレのない小学校はまだ沢山あるそうで、子どもたちはやっとトイレが使えると喜んでいました。

桑原さんが中学校で音楽指導



ピアノを教える桑原さん

一月六日(七日)、諸目的でカンボジアを訪問した桑原淑子さん(福島県二本松市・里親会員)が、夢ホームの子どもたちが通う、チャイチョップ中学校を訪れ、二十人の生徒に音楽指導した。時間は約一時間、桑原さんが持参したハーモニカとピアノを教えた。

桑原さんは、一月五日(二十六日)の長期間にわたりカンボジアに滞在、本会の活動のほか、他のNGO団体も運営する小学校でも音楽指導

第五回「鑄造によるアクセサリ作り技術講習会(夢工房)」



写真を見ながら指輪作りに励む受講生

日本宝飾クラフト学院(本校+東京都台東区)の専任講師を務め、自宅工房を持つ榎戸徹彦さん(横浜市・里親会員)が夢ホーム内に工房を作り、カンボジアの女性や若者を対象に、鑄造によるアクセサリ製作の技術を指導している。一月十日(十四日)、第五回目の講習会が同場所で開催され、七人の受講生が参加した。今回は、昨年十一月、アンコールワットを見学した時に撮った写真を元に、一人一人が作りたい図柄を選び、指輪やペンダント作りに挑戦した。材料の銀は、大半を日本で購入し、榎戸さんが講習会のたびに持参している。

今回の講習会は三月二十七日(三十一日)を予定している。昨年の五月に講習会を始め、三月で丸一年が経過する。そろそろ販売可能な製品ができそうだ。

児童養護施設《夢ホーム》日記

新しく入園しました

昨年末、ベルチャンターちゃん(女子)がお母さんの看病で退園したため、フン・ソチャンちゃん(11歳小学校2年生)が新しく入園した。

ソチャンちゃんの家は夢ホームに近いが、父親が亡くなって母親が4人の子どもを育てている。家計が苦しいためソチャンちゃんだけ夢ホームに預けた。とても明るい性格で、ホームの生活にも慣れ、みんなと仲良く通学している。



フン・ソチャンちゃん

国旗掲揚塔が完成

根谷崎百合子さん(神奈川県藤沢市・里親会員)と友人の米倉貴美子さんの寄贈による国旗掲揚塔が、ホームの庭に完成した。夢ホームの子どもたちが前から要望していた。アンコールワットの図柄が国旗になっているクメール民族としての誇りとその自覚を覚醒していきたいものだ。



国旗を掲げる子どもたち

れいちゃん大活躍

1月17日~18日、コンボンスプー県の主催でスポーツ大会が行なわれ、女子サッカーの部(中学生)で夢ホームのスレイルオンちゃん(愛称れいちゃん)がチャイチョップ中学校代表で出場した。あいにく優勝はできなかったが、大活躍したようだ。なでしこジャパンに続け!!



右側先頭がれいちゃん

冷蔵庫を購入

夢ホームの冷蔵庫は、プノンペンの事務所で7~8年も使用していたものだが、ついに故障してしまったため新規に購入した。さっそく、皆様からいただいた“お年玉募金”を使わせていただいた。



日立の冷蔵庫

■シハヌークビルが世界遺産に!
カンボジアの誇るリゾート地、カンボジアの西にあるシハヌークビルがこのほど、ユネスコ世界自然遺産に登録された。白い砂がきれいな海岸線は一部が海水浴場になっているが、大半は自然のままの姿を保っている。欧米人に人気があり、海岸に沿ってコテージ風の宿が沢山ある。

■のど自慢大会
日本大使館とカンボジア日本人材開発センターが共催し、一月十五日、カンボジア日本人材開発センターホールにおいてのど自慢大会の決勝大会が開催された。カンボジアの全国で予選を実施、その中から十五人が選ばれ、日本語による歌のうまさを競った。カンボジアでは日本語が冷えていく中、こうした催しに参加し、日本語の歌の魅力を知ってもらうには良い機会だ。

■立体交差点が完成
二年前から工事中であった、プノンペン市内の立体交差点が完成、一月七日に開通のセレモニーが行なわれた。韓国の支援によるもので、橋の名前も「一月七日橋」になった。この日はカンボジアにとって創立記念日にも匹敵する大事な祝日。ポルト政権が崩壊した日なのだ。



■早くも田植えが始まる
カンボジアでは大半の農地が一期作だが、水の豊富な地域は二期作が可能。雨は雨期にしか降らないので、灌漑用水が役に立っている。ポルト政権の時に国民を強制移住させて造らせた灌漑用水が、今もなお使われている。

■人間が回って陶器造り
久しぶりに、以前訪問したことがある、コンボンチュナン県の陶芸村を訪問した。ろくろ(回転台)を使わないで、人間が回って陶器を造るのだが、実にうまく仕上がるから不思議だ。人間の技は捨てたものではない。

■千支の動物並ぶ小学校
カンボジアの小学校を訪問すると、千支にある動物の像をよく見かける。カンボジアの小学校は、その多くがお寺の敷地内にあるので、その影響もあるのだろう。



■カンボジアの霊柩車
プノンペン市内で、たまたま霊柩車を見かけた。日本のそれとは違ってトラックの荷台に遺影を飾る。荷台には家族と一緒に、お坊様も同乗する。運転手は追突しないようにご用心!



クメール教育里親基金活動レポート

「クメール教育里親基金」では、一月末日現在、三百九十八人の子どもたちを教育支援している。一月七日、カンボジア滞在中の桑原淑子さん(福島県二本松市・里親会員)が里子の家を訪問、里子とその家族に面会した。里子のシアウミエアちゃん(小学四年生)はお土産をもらって喜んでくれた。



里子の家を訪問した桑原淑子さん(右)

新潟でクリスマス チャリティコンサート開催

昨年の十二月二十三日(午後六時〜九時)、イタリアンレストラン「ピアット ジョルニ」(新潟市中央区)にて、「2011カンボジア支援クリスマス チャリティコンサート」が行なわれ、新潟市民ら十三人が参加した。

収益金一万五千五百円は、夢ホーム日本語学習パソコン設備に使われる。また、十二月二十八日から一月三十日まで、新潟市内の「田中屋本店」など「カンボジアの子どもたち写真展」が開かれ、大勢の人が鑑賞した。団体代表の三林けい子さんは年に二回のペースでカンボジアの児童養護施設「夢ホーム」を訪問、二十人の子どもたちに日本語やミシンを指導するなどのボランティア活動をしている。またほ



演奏してくれた皆さん(前列左より二番目が三林けい子さん)

Table with 2 columns: Item (項目) and Data (データ). It lists various statistics for Cambodia, such as land area (181,035 km²), population (13,380,891), and literacy rates.

2010年、カンボジア教育・青年・スポーツ省作成

里子家庭訪問記録

A detailed profile of a child named Ruiy Bialum, including school information, family status, and a personal letter from the child. The letter describes daily life and expresses a desire to become a teacher.

石川さんの小学校建設、中日新聞に掲載

一月十八日、東京の中日新聞に、このほどカンボジアで小学校の校舎を作り、三月に開校式を行なう石川桂さん(愛知県安城市・里親会員)の善行が大きく紹介され、反響を呼んでいる。開校式は三月九日に行なわれる予定で、児童らと新校舎の誕生を喜びあうことになっている。



会場に展示した子どもたちの写真

「JICA地球ひろば」で写真展 ~カンボジアの子どもたち~開催

昨年の十二月六日〜十八日、「JICA地球ひろば」(東京都渋谷区)展示場にて、写真展「カンボジアの子どもたち」を開催した。昨年の同時期に続き、二度目の開催だが、同会場が今年の夏に閉館するため、今回がラストになる。同会場は修学旅行などの見学コースになっているため、大勢の中・高校生が子どもたちの写真を観てくれた。



家の前に弟と一緒に立っている写真

Advertisement for 'Cambodia New School' featuring a photo of Mr. Ishikawa and text about raising funds for school construction. It includes a headline '全国に募金呼び掛け資金' and 'カンボジアに新校舎'.

Large advertisement for 'Jintan' (純粋田七) health supplement. It features a testimonial from a 74-year-old man, product images, pricing (¥9,000), and contact information (042-659-2995). The ad promotes the benefits of the supplement for health and vitality.

カンボジアのニュース

現地で発行している新聞や情報誌から、カンボジアに関するニュースを紹介いたします。

日通がプノンペンに駐在員事務所開設

本通運（日通）が二〇一一年九月、プノンペンに駐在員事務所を開設した。

カンボジアが、外国資本の積極的な誘致、繊維産業などの順調な伸びで経済発展を遂げていることや「タイとベトナム南部を結ぶ陸路の重点拠点として、近年急速に注目を集めている」ことから、カンボジアでの事業展開に本格的に乗り出した。

三菱東京UFJ銀行、プノンペンに事務所開設へ

三菱東京UFJ銀行は、このほど、二〇一二年三月までにプノンペンに駐在員事務所を設立することを発表した。

同行のプレスリリースによると、これまでタイ、ベトナム、ミャンマーに拠点を設けてカンボジアの政治経済情報の収集をしてきたが、今後はプノンペンに拠点を置いて情報収集を強化し、日系企業の進出支援などサービスの向上を図るという。

カンボジアのマイクロファイナンス、日本企業が合併

本で冠婚葬祭場やレストランおよび不動産事業などを展開するグラント（大阪天王寺区）が、カンボジアの

企業と合併でマイクロファイナンス（小口融資）機関「ソナトラ・マイクロファイナンス・インスティテュート」を設立した。

ソナトラMFIは資本金百万ドル（約七千七百万円）で、今年一月にカンボジア中央銀行の認可を受けた。

日本人エステティシャンのリンパ・筋肉マッサージ上陸

本の最先端コスメを使ったフェイシャル＆ボディメイクینگ・マッサージのサロンが十二月、プノンペンの「チャンペイ・スパ&サロン」内にオープンした。「イル・ヴリール（本社・東京新宿区）」から、日本人エステティシャンのYokoさんが常駐する。

注目は、老廃物をリンパに流すことで全体を引き締め、痩身や小顔、リフトアップ効果のあるフェイシャルマッサージ。老廃物のたまりやすい部分を「痛い」と感じるくらい強く押し不要物をリンパへと流す。ボディメイクینگでは、筋肉のこわばりを丁寧ほぐし、バランスを整えることで体型を矯正。肩凝りや腰痛の原因となる骨のゆがみも自然に改善されるという。

S21の生存者、死去

ウルスレン強制収容所（S21）の生存者で、クメール・ルージュ

出稼ぎ家政婦、虐待で送還

政婦としてマレーシアに出稼ぎに送られたカンボジア人女性二名が、傷ができていたという。女性は無一文で虐待による

二人はマレーシア警察に駆け込み、駐

カンボジア大使館により送還された。

トゥッサナー・カンボジア

最近、プノンペン市内のごみが少なくなりきれいになったと同時に、車がきれいになった。さらにモトバイクもきれいになった。モトバイクや車の洗車場がどんどんできていくからだ。

日本のようにガソリンスタンドでなく、洗車場だけの店。表通りにはなく、横道や裏通りにある。だが、水が貴重な国、ずいぶん水代がかかることだろうと心配する。それだけ豊かになったのか。

（理事・関西支部長、中野勝）



街にある洗車場店

洗車場増える

*トゥッサナーとは観察するという意味です。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券をお送りくださいませんか
本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビルやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。
皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますようお願いいたします。普通郵便で事務局へお送りください。

送り先：〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701 本会事務局へ

写真展「アジアの子どもたち」

カンボジア、インド、雲南省（中国）、スリランカなど、アジアで活動するNGO団体の写真を展示し、活動報告いたします。入場無料ですので、お気軽にお越しください。

日時 5月25日（金）～27日（日）
・25日は13:00～19:00
・26日は10:00～19:00
・27日は10:00～17:00



会場 神奈川県民センター（1階展示場）（横浜駅西口より徒歩5分）
詳しくは、本会事務局へお問い合わせください。（電話：03-3991-2854）

事務局便り ■お年玉募金に沢山の会員さんのご協力をいただき、まことにありがとうございました。さっそく、夢ホームの整備など、子どもたちのために使わせていただきます。

■夢ホームの園長として3年間勤務したアタイさんが、個人的な理由で1月末日をもって退職いたしました。長い間ありがとうございました。当分、園長職を置かないで、事務局スタッフが兼務いたします。

■「第20回カンボジアふれあいの旅」は約20人の会員さんが参加して、3月7日に出発いたします。その様子は次回の会報にて報告いたします。旅の安全をお祈りください。

3月～4月の予定

- 会報「アンコールワット」3月1日付第63号発行
- 20回カンボジアふれあいの旅(3月7日～13日)

活動に参加しませんか

ボランティア仲間

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

クメール教育里親募金

農村の貧しい子ども達が学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる里親会員を募集しています。サポート金額は年間三万円（分割可）です。

会員として

- ・個人会員（年額二口五千円）
- ・法人会員（年額一口二万円）
- ・里親会員（年額三万円）

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。

郵便振替口座番号

21世紀のカンボジアを支援する会
（口座番号）
00130-0-160916
※銀行振込をご希望の方は事務局へご一報ください。

※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご一報ください。

真珠のように輝く子供たちの瞳に出会ってみませんか？

「夢ホーム」で子ども達と楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な井戸の贈呈式・アンコールワット、トンレサップ湖周遊などなど

第21回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子ども達との交流をはかることができます。

特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子ども達が皆様をお待ちしております。併せて学用品配布などのボランティア活動にも参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。

もちろんカンボジアといえば世界遺産の宝庫、アンコールワット観光やトンレサップ湖周遊もコースに入れました。なお、募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、参加される方は、事前に会員登録（一口5,000円）が必要になります。



学校訪問では井戸贈呈式に出席します

- 【旅行期間】平成24年7月4日（水）～10日（火）（5泊7日）
- 【募集定員】最少催行人員10名様（定員＝30名）
先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
- 【滞在ホテル】
コージナホテル（シェムリアップ）2泊
ダイヤモンドホテル（プノンペン）3泊
- 【利用空港】成田空港および関西空港など
- 【旅行日程】4日＝成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのシェムリアップ空港へ。
5日＝終日アンコールワット・アンコールトム観光
6日＝トンレサップ湖周遊、その後シェムリアップ⇒プノンペン、バス移動
7日＝小学校訪問、井戸贈呈式、学用品配布
8日＝夢ホーム訪問、セントラルマーケットで買い物
9日＝里子の家庭訪問、夕方チェックアウト⇒プノンペン空港から帰国の途へ
10日＝早朝、成田・関西空港などに到着
- 【旅行代金】150,000円を予定。＊現地までの航空券代、空港税、ビザ申請代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。＊1人部屋希望者追加料金5泊で12,000円。＊傷害保険は各自でおかけください。

【締切日】平成24年5月10日（木）

お問い合わせ・申し込み

旅行企画☆特定非営利活動法人 21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701 TEL: 03-3991-2854
E-mail: info@aac21.net http://www.aac21.net FAX: 03-3557-1213

インドシナ半島の国々

